

## 第 6 回 歴史文化保存展示施設専門検討委員会 意見要旨《発言順》

議題(1) 常設展示の主な展示手法について		
No.	内容	
1	意見	子ども達に理解してもらうために、浜田の特色を明確にした方がよい。浜田の地理的特徴、風土を考え問いかける仕掛けが必要。
2	意見	教員時代、いかに歴史を身近に感じられるかを考え授業をした。そのため、人を引き付ける導入部分の展示が大切である。
3	意見	常設展示の巡回ルートが時計回りだが、一般的に反時計回りが回りやすいと思う。各委員の意見を伺いたい。
4	意見	例えば、絵巻は資料の性質上右から左へ見る。今回はまだ具体的にどのような資料を展示するか分からないが、資料の属性に応じて変えるべき。
5	意見	資料の大きさや多さを考えると、展示スペースは狭い。展示物の大きさもありバランスが難しいが、イラストや映像を使いながら資料の絞り込みが必要。
6	意見	全国的には左回りが主流。展示を少なくする方法として QRコードを使い民具の使用方法を映像で見せれば民具の展示を減らせる。 また、自分から調べるという行動が子どもたちには必要。
7	質問	最後の浜田の発展や暮らしの移り変わりで、今浜田で生活している人へインタビューした映像を流すことは考えているか。
	回答	これまで考えてなかったもので、今後検討していきたい。
	意見	昔を知る人々の話を聞き、記録に残していくことが必要である。資料だけでなく人にフォーカスしていくことも重要である。浜田の人が資源であるということが大切なので、考慮して欲しい。
	意見	失われていく文化・知識を映像で残すことは大切である。事務局で検討して欲しい。
	意見	映像制作はコストがかかる。今の若者は映像作成スキルが高いため、地元の若者が話を聞き、映像をつくるという方法もある。

8	意見	子どもたちには、映像を見せてから、展示を見た方が理解しやすいと思う。
9	意見	中学校では授業の導入部分で、学習課題を自分の言葉で表現するような取り組みをしている。地域資料から課題に取り組みればよい。
10	意見	子どもが見てのめり込む方法を考えれば、浜田らしいユニークさにつながる。導入で石見神楽と風土を見せてテーマごとに展示をするのは理想的な形でよい。また、現在との比較があると見やすい。学校教育では、事前学習が大切である。 展示手法として、子どものイラスト等の作品を取り入れることもできる。展示の回り方は展示内容により考慮すべき。
11	意見	展示内容に物語性を持たず等、説明の仕方に工夫が必要である。
12	意見	子どもの作品を展示する案は、今までと違う発想でよい。また、バリアフリーの観点も必要。難しいことではあるが、どの世代も何かひとつ学べるような展示を考える必要がある。
13	質問	郷土資料館や図書館には、書籍が多くある。こうした書籍の閲覧場所は確保しているのか。
	回答	資料の閲覧や調査の要望があったら、部屋を確保して対応していきたい。
14	質問	「浜田」のイメージはどこまでの範囲を想定しているか。
	回答	浜田市域全体をイメージしている。
15	質問	周布古墳だけでなく、千年比丘1号墳、やつおもて古墳、金田古墳等、市内全体の古墳も表記して欲しい。
	回答	市内に多くの古墳があることは承知しているので、展示に反映していきたい。

議題(2) 歴史文化保存展示施設の基本計画(案)について		
No.	内容	
1	意見	名称について、「展示施設」だと展示して終わりのイメージがある。活用を考えるならば、「歴史文化学習館」等がよいと思う。
	回答	名称については、仮の名称である。次回以降の検討会で、名称についてご意見を伺いたい。

2	質問	3階の展示及び学習室へ書棚を設置して、書籍を閲覧するスペースとしてはどうか。
	回答	展示及び学習室は、壁側に絵画や民具を並べ、中央の空間は市民や子どもたちが活動することを想定している。書籍関係の閲覧は管理が難しい。
3	意見	学習室は管理が難しい。古書類等貴重なものが入ることを考えると難しいのではないかと思う。
4	質問	展示室の受付は、チケット等の取扱いをするのか。
	回答	受付はこども美術館と共通で、チケットの取扱いは一括で行う。展示室の受付は、チケットの確認のみである。
5	質問	美術館の海側部分の景観は素晴らしい。資料館が増設する際景観への配慮はあるのか。
	回答	建物はこども美術館との調和を図っている。また、海側の展望も確保していく。
6	質問	基本計画には、県立大学や高校との連携の記載がないが、考えていないのか。
	回答	今回資料として提示したのは、あくまで概要である。県立大学や高校との連携も考えているので、今後記述していきたい。
7	質問	基本計画の理念・使命の中で「国際性」についての記述があるが、展示や活動にどのように反映させるのか。
	回答	基本理念と使命の「国際性」については、展示施設とこども美術館の共通のものとして設定している。世界の中からふるさと浜田を考えるとということを目的として記述している。
8	意見	増設については、どこの部分を残し、発展させるかの判断が大切である。
9	質問	基本計画の活動スケジュールの中で、3年目が短期と中期が重なっているがどういうことか。
	回答	期間については資料を修正したい。

	意見	準備の活動を含めた方が分かりやすいので、資料の修正をお願いする。また、現場の先生方へのリサーチをして教材提供や出前授業を検討して欲しい。
10	意見	教材提供活動は、時間と手間もかかるため準備期間も活動に含めた方がよい。
11	意見	基本計画については、大筋はよいと思う。また、既存施設との連携もあってよい。 長浜臨港線も浜田の発展に欠かせないので追記して欲しい。
12	意見	津和野郷土館は、質の高い展示をしている。浜田にふさわしい施設として、質の高い展示をして欲しい。
13	意見	出前授業は、地域に合ったものにすべきで、学校と連携して指導要領を作成すべきである。 また、早めに職員を雇用して人材確保をし、組織体制をつくって欲しい。
14	質問	各時代のイラスト、映像展示は1ヶ所にまとめれば展示スペースが広がるのではないか。
	回答	今後検討していきたい。
15	意見	今回の内容を事務局でさらに検討して欲しい。基本計画も引き続き改良してもらいたい。